



東京宝塚劇場開場
80周年カウントダ
ウンイベント Vol.1
「東京宝塚...



東京宝塚劇場開場
80周年カウントダ
ウンイベントⅡ 宝
塚今昔物語&...



イベント 終了しました

東京宝塚劇場開場80周年カウントダウンイベントⅢ 日比谷における宝塚文化～映像と写真から探る1930年代のヒビヤ・モダン

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>関西発祥の宝塚歌劇が、東京のモダン文化を担う日比谷に進出してきたということは、いったいどのようなできごとだったのでしょうか。復元された昭和初期の個人フィルムや共同研究者の様々な視点をもとに、日比谷における宝塚の歴史と文化的意義を振り返ります。</p> <p>— 第1部 — 15:00～16:20 開催あいさつ 開催主旨説明 鈴木国男（共立女子大学） 「フィルム発見！調査研究の経緯について」 山梨牧子（法政大学） 映像上映&トーク 浅子順子（取材協力者） 三行英登（映像作家）</p>

	<p>— 第2部 — 16:30～18:00 「新聞が伝える「宝塚の日比谷進出」」 鈴木祐輔（法政大学） 「P.C.L映画製作所に於ける宝塚と日比谷モダン」 ノルドストロム・ヨハン（早稲田大学）</p> <p>※千代田区民の方は参加費が割引となりますので、住所が確認できるものをお持ちください</p>
日にち	2013年11月16日（土） 15:00から18:00
日にち説明	当日の受付開始14：30～
場所	地下1階 コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（申込順）
参加費用	500円（千代田区民無料）
講師・出演者	鈴木国男ほか
プロフィール	<p>■鈴木国男（すずき くにお） 共立女子大学文芸学部教授。 --Event guide-- Tokyo Takarazuka Theatre 80th Anniversary Takarazuka Culture in Hibiya: Discovering 1930s “Hibiya Modern” in Photos and Film This symposium will reconsider the socio-cultural significance of Kansai-born Takarazuka Revue’s move to Tokyo, when it acquired its own theatre in Hibiya in 1934. Rare chance to see the revived 1936 films that capture La Romance and Pagliacci,</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館(03-3502-3340)
申込期間	2013年10月08日 10:00 から2013年11月16日 15:00
申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名(または講演会)、②お名前(よみがな)③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示

イベント開催日

休館日

2013年 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

発信日

2013.10.08

 印刷

 リストに追加

ツイート